

「第 14 回 空港内の施設の維持管理等に係る検討委員会」 議事概要

日時：令和 8 年 2 月 27 日(金) 15:00～16:30

- 定期点検で実施する路面性状調査について、更新サイクルを考慮した点検回数とすることは合理的であるが、更新後の初期不良を把握することも重要なので定期点検を開始する時期を定めるとよい。
- 誘導路の巡回点検の留意点について、「留意して実施する」だけでは、点検者には伝わりにくいので、留意事項を伝える方法を考えるとよい。
- 事後対策の応急復旧について、まずは、自衛隊緊急輸送機の離着陸を対象とした滑走路延長を復旧し、その後、民航機対応として滑走路の全長の応急復旧を実施するといった段階的な復旧に合わせて、目標とする復旧日数も段階的に考えるとよい。
- 『移動式再加熱ユニット』の検討に関して、空港の復旧に必要な電源を供給できる仕組み（例えば、電源供給車の配備）などを検討してはどうか。
- 地盤変状解析結果を用いた事後対策範囲の選定（すり付け舗装による段差等解消）について、解析精度に依存するため、閾値について精度を考慮して検討するとよい。